

日本橋学館大学 2011年度 公開講座

- 講師名・専門分野
- 講座内容
- 曜日・回数・時間・日程・受講料

【平家物語とその周辺】

〈薩摩琵琶演奏〉

ほぼ月らいぶ (その21) 薩摩琵琶ライブ ; 『平家物語』を語る — 「祇園精舎」「壇ノ浦」他—

- 櫻井 亜木子 東京音楽大学卒。2008年度日本琵琶楽コンクール優勝、文部科学大臣奨励賞受賞他。
- 本来、琵琶で語られる語物(かたりもの)、耳から聞く文芸として愛好されてきた『平家物語』。中でも特に人気の高い「祇園精舎」「壇ノ浦」を、女流薩摩琵琶奏者の第一人者である櫻井氏の生演奏でお届けします。琵琶で語られる作品世界の真髓をご堪能下さい。
- 土曜日・1回・15:00~17:00・11/12・入場無料

〈平家物語を読む〉

(1) 木曾義仲の最後と平家滅亡

- ① 柳沢 孝子 教授 日本文学
- ② 「平家物語」は滅びの文学であったとも言えます。今回は、物語中の大きな戦い二つを選び、作品を読みます。一つは木曾義仲の死を描く「木曾最期」で、友情に結ばれた武士たちの壮絶な戦いが繰り広げられます。もう一つは平家一族の滅亡を描いた壇ノ浦の戦いです。
- ③ 火曜日・2回・14:40~16:10・10/4、11・¥2,000

(2) 古き都への郷愁と王朝貴族の風流

- ① 服部 一枝 教授 王朝和歌文学
- ② 福原遷都の後、旧都は荒廃し、人々の心がすさむ中であって風雅のたしなみを失わなかった貴族がいました。平家物語巻第五「月見」の章段に、それを見ることができます。本講座では、実定卿の歌の世界へのあこがれと小侍徒と蔵人の贈答歌をじっくり鑑賞します。
- ③ 月曜日・2回・14:40~16:10・10/17、24・¥2,000

〈平家物語の周辺〉

(3) 平氏政権と日宋貿易

- ① 太田 英比古 教授 日本古代史
- ② 平清盛は武家出身で初めて政権を樹立しましたが、その樹立要因の一つに、西国の利権に着目したことでした。瀬戸内の流通経済の掌握と、それに関連した日宋貿易への関与です。厳島神社信仰・大輪田泊の整備・福原遷都も西国利権との関連で考えたいと思います。
- ③ 土曜日・2回・13:00~14:30 14:40~16:10・11/26・¥2,000

(4) 祇園精舎、娑羅双樹、仏教の無常観

- ① 杉木 恒彦 講師 インド学仏教学、宗教学
- ② 平家物語の冒頭に登場する「祇園精舎」「娑羅双樹」「諸行無常」は、いずれも仏陀の生涯や仏陀が説いた教えとゆかりのあるものです。写真などの図像資料を用いて仏陀の生涯とその無常の真理観・道徳観について考え、平家物語の理解の導入とします。
- ③ 土曜日・2回・13:00~14:30 14:40~16:10・10/22・¥2,000

(5) 「俊寛と有王」の物語 — 『平家物語』・芥川龍之介・菊池寛—

- ① 佐々木 さよ 教授 日本近代文学
- ② 鹿の谷での平家打倒の密議が発覚して鬼界ヶ島に流された俊寛の件は『平家物語』中でも有名で、お芝居でもお馴染みです。実は芥川と菊池寛の二人にこの件に想を得た短編があります。元の物語を鑑賞した後、二人の競作を読みます。三作から見えてくるものは？
- ③ 木曜日・2回・13:00~14:30・11/17、24・¥2,000

(6) 清盛たちとみほとけ

- ① 塩澤 寛樹 教授 日本美術史
- ② 清盛たちが活躍した、いわゆる平氏政権の時代は、仏教美術の上でも大きな変革が起こりつつある時代でした。今回は、こうした時代背景の中で、平氏政権期から源平合戦期の仏教彫刻史を眺め、あわせて平氏が係わった南都焼亡からその復興の様子にも目を向けたいと思います。
- ③ 金曜日・2回・14:40~16:10・10/7、14・¥2,000

(7) 平家物語と歌舞伎〜「熊谷陣屋」と「義経千本桜」

- ① 大倉 直人 非常勤講師 日本演劇
- ② 中世文芸の「平家物語」が、江戸文芸の「人形浄瑠璃」や「歌舞伎」において、どのように描かれているか、映像を交えてお話ししていきたいと思います。講座の前半は「一谷嫩軍記〜熊谷陣屋」を、後半は「義経千本桜」を中心に見ていきます。
- ③ 土曜日・2回・13:00~14:30 14:40~16:10・10/15・¥2,000

【一般講座】

(8) 清少納言の生きかた - 『枕草子』を中心としてみたもの-

- ① 服部 一枝 教授 王朝和歌文学
- ② 人の顔が十人十色であるように、その生き方もさまざまです。すぐれた文学作品は、人の心や生き方をいろいろと照らし出します。『枕草子』の作者清少納言の生涯は、一体どんなであったでしょう。本講座では、それを主として『枕草子』によってたどっていきます。
- ③ 月曜日・2回・14:40~16:10・11/21、28・¥2,000

(9) 久保田万太郎を読む - 滅び行く江戸下町-

- ① 柳沢 孝子 教授 日本文学
- ② 浅草に生まれた久保田万太郎は、生涯、下町と下町人の物語を描きました。それは明治以降の新たな時代の波に流され、滅びてゆく下町人たちの、もの哀しい姿です。万太郎作品を幾つか紹介しながら、なぜ彼が江戸下町への挽歌を書き続けたのかを考えてみます。
- ③ 火曜日・2回・14:40~16:10・11/22、29・¥2,000

(10) 仙人の住む世界を覗いてみよう - 中国六朝志怪小説講読-

- ① 三枝 秀子 講師 中国古代文学
- ② 漢文訓読法を用いて中国の昔ばなしを講読します。漢文を読みたい方、漢文をもう一度学んでみたい方、訓読の基礎を学びつつ中国の不思議な話を読みましょう。
第1回・・・漢文の基礎・嵩高山大穴
第2回・・・袁相根碩
第3回・・・桃花源
- ③ 木曜日・3回・13:00~14:30・10/13、20、27・¥3,000

(11) 原文で読むドイツ文学

- ① 阿部 雄一 准教授 ドイツ文学
- ② ドイツ語の初級文法をおおよそ修得しているかたを対象とし、毎回少しずつ訳していただきます。今回は Gerhart Hauptmann(1862-1946)の一幕劇“Elga”を読みます。森鷗外による翻訳『僧房夢』があります。原文のテキストは申し込まれたかたから順次お送りします。
- ③ 木曜日・4回・10:40~12:10・10/20、11/10、17、24・¥4,000

(12) イタリア・バロック音楽の楽しみ

- ① 飯森 豊水 教授 西洋音楽史
- ② イタリアを旅行すれば、歴史の重み、食べ物のおいしさ、建築や絵画の充実に圧倒されます。バロック時代の優れた音楽もまた、近年の若手中堅演奏家たちによる新しい演奏解釈を通して、往年の「激しい」輝きを取り戻しています。初期の無名作曲家からヴィヴァルディまでを楽しみます。
- ③ 月曜日・3回・10:40~12:10・10/10、17、24・¥3,000

(13) マンダラが映し出すもの —マンダラから見るインド・ネパール密教文化—

- ① 杉木 恒彦 講師 インド学仏教学、宗教学
- ② 仏陀が開いた仏教は、6世紀頃以降のインドにて密教となり、その直接の流れは今もネパールで生きています。密教ではマンダラ（仏や菩薩や神々の集合図）が様々な役割を果たします。マンダラの思想・文化を通して、密教の多面的な世界を探求してみましょう。
- ③ 土曜日・2回・13:00~14:30 14:40~16:10・11/19・¥2,000

(14) 征韓論はなぜ興ったか：—日本政治史持論—

- ① 瀧川 修吾 講師 政治学、法律学
- ② 征韓論は、一般に、幕末の開明家たちが既に構想していたとも、あるいは王政復古を告げる国書の受理を隣国朝鮮に拒絶されたことで勃興したとも言われております。征韓論登場の政治的背景について、皆さんとの対話を交えながら、お話してみたいと思います。
- ③ 土曜日・4回・13:00~14:30 14:40~16:10・10/1、8・¥4,000

(15) カウンセリング入門

- ① 佐々木 由利子 教授 カウンセリング心理学
- ② カウンセリングの学習では「聴くこと」が大切とされていますが、どのように聴くのでしょうか？聴いているこちらの自己表現にも磨きをかけなければなりません。色々なグループワークを通じて学んでみましょう。
- ③ 火曜日・3回・14:40~16:10・11/1、8、15・¥3,000

(16) 人間の「こころ」の発達 —乳幼児精神保健入門—

- ① 寺本 妙子 講師 乳幼児精神保健
- ② 人間が人間らしく「こころ」を成長・発達させていく初期のプロセスについて学びます。本人だけでなく、周囲の人や環境がいかに大切であるかを理解し、次世代を育てるために自分にできることは何かについて考えていく予定です。
- 木曜日・2回・13:00~14:30・12/1、8・¥2,000

(17) 太りにくい身体をつくろう！ —ミニテニス—

- ① 高橋 早苗 准教授 スポーツ健康科学、スポーツ生理学
- ② ミニテニスは、テニス・バドミントン・卓球のルールをアレンジしたスポーツです。ミニテニス愛好者の体力水準は、年齢平均値より高く、外見も実年齢より若く見られる方ばかりです。ミニテニスを通して、若さと健康をサポート致します。
- ③ 火曜日・5回・10:40~12:10・11/1、8、15、22、29・¥5,000

【柏学祭特別企画】

文化講演会 「ロマンチック街道はじまるどころ」「フランスの遠藤周作」

- ① 平尾 浩三 東京大学名誉教授、日本橋学館大学名誉教授。 ドイツ文学
高山 鉄男 慶応義塾大学名誉教授、日本橋学館大学名誉教授 フランス文学
- ② 柏学祭との共同企画として、平尾浩三先生が「ロマンチック街道はじまるどころ」、高山鉄男先生が「フランスの遠藤周作」というテーマで、ヨーロッパ世界についていろいろと話されます。
- ③ 土曜日・1回・13:00~15:00・10/29・入場無料 事前申込不要